

養老線地域公共交通再生協議会議事概要

項目	内容
会 議 名	令和6年度養老線地域公共交通再生協議会第3回会議
と き	令和7年 1月10日（金） 14:00～16:00
と こ ろ	クインテッサホテル大垣 3階 ソーレB
出 席 者	委 員 30名 オブザーバー 1名 事 務 局 4名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 「地域公共交通計画」の実質化に向けたアップデートの概要について 説明：国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官 下平 真一郎 様 4 議 題 議第1号 （仮称）養老線交通圏地域公共交通計画策定について 議第2号 （仮称）養老線交通圏地域公共交通計画策定業務委託について 5 報告事項 報第1号 養老線沿線基礎調査（ニーズ調査等）結果について 6 その他 1）養老線地域公共交通再生協議会 委員等名簿変更（案）について 2）今後の日程について 7 閉 会

項目	内容
会議内容	1 開 会 2 あいさつ ・石田会長 委員の皆様にはご多忙のところご参加いただき、誠にありがとうございます。交通事業者、道路管理者様をはじめとした関係機関の皆様には、日頃より公共交通の発展にお力添えいただき、重ねてお礼申し上げます。 本会議では、地域公共交通網形成計画の令和 9 年度の更新に向けた前段階の協議と、計画のベースとなる養老線住民アンケートを含む基礎調査結果についてご報告いたします。また、岐阜運輸支局の下平委員から地域公共交通計画のアップデートに関する考え方についてお話をいただきます。 現在、公共交通は運行経費の増加、車両・施設の老朽化、担い手不足など、非常に厳しい状況にあります。さらに、社会情勢としては人口減少や少子高齢化に伴う利用者確保の難しさや、高齢者を含む移動制約者への対応が喫緊の課題となっています。 これらの課題を解決するために、沿線住民の皆様に積極的に公共交通を利用していただけるよう、公共交通ネットワークの強化、沿線事業所の従業員の皆様への利用促進、商業施設や観光地との連携強化、サイクルトレインなどの企画を推進し、持続可能な運営方法を模索してまいります。また、どのようにすれば持続可能な運営が実現できるか、様々な観点を踏まえて計画を策定してまいります。 今後も社会情勢の変化や国の制度改正を注視しつつ、地域住民にとって大切な移動手段として、公共交通を効率的かつ持続的に維持し、市民・町民の皆様が安心して地域に住み続けられるよう、公共交通の整備を進めてまいります。 3 「地域公共交通計画」の実質化に向けたアップデートの概要について 説明：国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官 下平 真一郎 様 別添1

項目	内容
	4 議 題 議第1号 (仮称) 養老線交通圏地域公共交通計画策定について 資料No.1 議第2号 (仮称) 養老線交通圏地域公共交通計画策定業務委託について 資料No.2 →【説明】事務局 5 報告事項 報第1号 養老線沿線基礎調査（ニーズ調査等）結果について 別添2 ・石田会長 住民アンケートでは、92%の方が「養老線は地域にとって重要だ」と回答しています。このため、自治体としても養老線を地域の重要な社会インフラと考え、存続に向けて取り組んでまいります。しかし、現在の社会情勢では、これまで通り行政や交通事業者だけで持続可能な運営をするのは難しい状況です。本日のように、多様な関係機関の皆様に参画いただき、連携して共創の取り組みを計画に盛り込むことが必要だと考えています。 6 その他 1) 養老線地域公共交通再生協議会 委員等名簿変更（案）について 資料No.3、資料No.3-2 ・國枝委員 委員に若い方々も入れていた方が良いと思う。 →石田会長 高校生については校長先生に取りまとめていただいておりますが、委員については若い方々が参画できるように人選を進めてまいります。 2) 今後の日程について 資料No.4 7 閉 会 協議結果 →全ての議題について、原案のとおり承認

項目	内容
	【全体を通して主な発言】 ・大内委員（養老鉄道(株)） 当社としても利便性や快適性が向上するように公共交通を維持できるように施策を検討していきたいと思います。アンケート結果で 92%の方が養老線が地域にとって必要であると回答してくださり、満足度や改善策の内容を踏まえて大きな期待に応えられるよう利便性向上に取り組んでいきます。 これまでコロナ禍からの回復のスピードが鈍かったですが、年末年始の輸送状況としては収入が前年に比べて 6%プラスでした。営業面の取り組みとして酒蔵ハイキングを実施して沿線外からも集客を図り、受験生応援フリー切符、シナモンロール列車の運行やイベントを予定しています。地域公共交通計画の策定を通じて関係者と様々な施策を検討していきたいと考えています。 ・谷口委員（名阪近鉄バス(株)） 12 月に 26 年ぶりに路線バスの運賃改定を行いました。運転手の待遇改善や働き方改革のために使わせていただく一方で、ご利用の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、路線維持のためにご理解を賜りますようお願い申し上げます。 現在、4 月の運行開始を目指し、大垣駅と市民病院を結ぶ路線の準備を進めています。養老鉄道の大垣駅と市民病院を直結する路線となり、養老線の利用促進にもつながればと考えています。 現在、20台のバス車内にデジタルサイネージを設置し、乗り換え案内や観光情報、養老鉄道のPR動画を放送しています。1月10日からは岐阜バスの車内でもPR動画を放映していただけるとのことで、観光誘客につながることを期待しています。引き続き、地域に多くの方々にお越しいただけるよう、協力しながら進めてまいります。 ・豊田委員（東海旅客鉄道(株)） 年末年始の輸送状況について、新幹線はコロナ禍前の 2018 年度と比べて 105%の利用があり、多くの方にご利用いただきました。名古屋近郊の在来線でもコロナ禍前と比べて 101%の利用がありました。しかし、普段の利用はリモートワークの普及などもあり完全には戻っていません。 3 月 15 日のダイヤ改正に合わせて、TOICA の利用エリアの拡大を予定して

項目	内容
	います。TOICA は 2006 年度の導入以降、利用エリアを拡大してきましたが、今回の拡大で大垣市では荒尾駅と美濃赤坂駅でも利用できるようになります。 ・不破委員（樽見鉄道(株)） 樽見鉄道は大垣駅で養老線と接続しています。定期券のデータを取っていますが、樽見鉄道から養老線に乗り継いで大垣南高校、大垣養老高校に通学されている方や、養老線から樽見鉄道に乗り継いで岐阜第一高校や岐阜高専に通学されている方がいます。現在、養老鉄道、樽見鉄道、明知鉄道、長良川鉄道と 4 社が連携して、岐阜のローカル鉄道を全国に PR するため、利用促進施策を進めています。 持続可能な交通機関として残していくためには、樽見鉄道でも地域の方に支えていただく必要があると感じています。樽見鉄道では、大垣市、揖斐川町、本巣市、瑞穂市と協力して協議会を立ち上げる予定ですので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。 ・伊藤委員（三岐鉄道(株)） 三岐鉄道では、三岐線と北勢線の2路線を運行しており、桑名駅で養老線と接続している北勢線は、桑名市、東員町、いなべ市のご協力で運行しています。北勢線では本日、ICカード導入およびWEB定期券についてのプレスリリースを発表しました。 ICカード導入にあたっては、自治体の支援があり非常にありがたく思っております。三岐線ではJRから車両を譲渡していただき、運行に向けて点検を進めています。地方鉄道として沿線の方々の支援がなければ運営は難しいと思っています。選ばれる鉄道となるよう、頑張っていきたいと思っています。 ・高橋委員（岐阜県タクシー協会西濃支部） 年末年始の売上は鉄道事業者と同様に好調でしたが、乗務員不足は依然として改善されていません。今後も乗務員の確保に向けて努力を続けてまいります。

項目	内容
	・川瀬委員（大垣南高校） 本校にとって養老線は欠かせない存在で、約 4 割の生徒が通学で養老線を利用しています。今朝も雪のため自転車での通学が困難な生徒が養老線を使って通学していました。雪の中でも運行していただき、また遅延情報も学校に連絡いただき、大変ありがたく思っております。 アンケート中には、駅への二次交通のアクセス手段が少ないという回答がありました。大外羽駅から大垣南高校までは徒歩15分程で、歩ける距離ですが、生徒からはバスがあると良いという意見や、誰でも使えるシェアサイクルのような自転車があればという意見もあります。普段の学習だけでなく、探究的な活動課題を考える授業も行っており、社会活動の一環として高校生の視点から地域課題を考える中で、養老鉄道の存続なども題材とし、学校としても協力していきたいと思います。 ・安田委員（NPO法人くすくす） 子育て世代の方々も養老線を利用されていますが、昼間の列車を増やしてほしいという声を聞きます。子供たちは乗り物が好きなので、鉄道やバスで養老公園に行って楽しめるような企画があれば、積極的に応援したいと思います。 ・横川委員（海津市） アンケートの回収率が49%というのは異例の高さで、沿線住民の皆様の関心の高さを示しています。しかし、関心が高い一方で、利用にはつながっていないことが養老線の課題であり、この課題を解決するために、次の計画に反映させる必要があります。計画のアップデートのキーワードは、ビッグデータと共創だと考えています。ビッグデータを活用して分析を行い、魅力や満足度を向上させる施策を考え、多様な主体が連携し、共創によって解決策を生み出していけるとよいと思います。 ・岡部委員（揖斐川町） 下平委員の話では、現状分析や評価が見直しにつながっていないという指摘がありましたが、まさにその通りだと思います。アンケートで挙げられた改善点が解決された場合、6割の方が利用を増やすと回答していますので、利用者の増加につながる施策として検討する必要があります。これからも関係

項目	内容
	者と一緒に頑張って対応していきたいと思います。 ・ 藤井委員（神戸町） ニーズ調査について非常に興味深く見させていただきました。 神戸町では通勤の31%が大垣市でお世話になっています。この協議会でも様々な立場の方々が参加されているため、皆様の意見もお聞かせいただいて、少しでも計画の中に反映できればよいと思います。 ・ 平井委員（中部運輸局鉄道部） 昨年度の法改正に伴い、中部運輸局管内で初めて新しい再構築事業を実施するということで、初めての事例で分からないことが多い中ご協力いただき感謝しております。今後の新たな再構築に向けた改定となるかと思いますが、アンケートで寄せられたさまざまなご要望をよく検討し、計画に反映していただければと思います。 ・ 竹内委員（岐阜協立大学） 計画のアップデートでは、現状をしっかりとデータで分析し、その上で将来像を明確に決めて計画を策定していくことが重要だという話がありました。今後はビッグデータやパーソントリップ調査を活用して分析いくことで進めていただければと思います。今回の住民アンケート調査は沿線1kmの住民に限られているため、住民の意見の取り方に改善の余地があるかもしれません。データの価値や正確なデータを取得するためにも、養老鉄道にはICカードの導入を検討していただきたいと思います。料金収受の面だけでは導入費用に見合わないかもしれませんが、ICカードデータから得られる価値は非常に高いと考えています。 現状、養老線は年間 600 万人の移動を支えており、通勤時間帯は満杯ですが、昼間と休日の利用が少ないことが課題だと思います。コロナ禍で移動が制限されている中で、自動車から公共交通への移行という価値観も生まれていますが、状況は依然として難しいです。GX の観点からは、自動車による移動を公共交通に転換させることが重要です。しかし、人口減少も進行しており、今後の 10 年間で顕著な影響が出ると考えられます。養老線は観光目的よりも通勤通学の足を確保することが重要であり、そのコンセンサスをこの会議で作し、どのようなまちづくりや支援が必要かを考える必要があります。

項目	内容
	KPIが乗車人数だけという計画もあるようですが、それでは経営的な観点が不足しています。人口が減少する中で、どれくらいの費用をかけて、どれくらいの交通を確保すべきかという視点も重要です。現在、養老線の利用者の多くは高校生であり、通学定期の割引が高いため、収入面ではきっぷ購入の方が大きな割合を占めています。経営改善のためには、どうすれば通勤通学の足を確保できるか、KPIに経営的な観点も含めて検討していただければと思います。
会議資料	・ 席次表 ・ 会議次第 ・ 議案 資料No.1～3、資料No.3－2、資料No.4、別添1～2 ・ 規約名簿

令和6年度養老線地域公共交通再生協議会第3回会議出席者名簿

1 委 員

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考	随 行
1	地域公共交通網 形成計画を作成 しようとする 地方公共団体	大垣市長	石 田 仁	会長・議長	
2		桑名市長	伊 藤 徳 宇	代理 MasS推進室長 森山 忠宏	
3		海津市長	横 川 真 澄		1
4		養老町長	川 地 憲 元	代理 副町長 田中 一也	1
5		神戸町長	藤 井 弘 之		1
6		揖斐川町長	岡 部 栄 一		1
7		池田町長	竹 中 誉	代理 総務部長 小林 健	1
8	公共交通事業者等 (地域公共交通網形 成計画に定めようと する事業を実施する と見込まれる者)	養老鉄道㈱代表取締役社長	大 内 敬 弘		2
9		(一社)養老線管理機構代表理事	豊 田 富士人		2
10		東海旅客鉄道㈱東海鉄道事業本部 管理部企画課担当課長	豊 田 智 隆		
11		樽見鉄道㈱代表取締役社長	不 破 道 夫		
12		三岐鉄道㈱代表取締役社長	渡 邊 一 陽	代理 執行役員鉄道部長 伊藤 克也	
13		名阪近鉄バス㈱代表取締役社長	谷 口 弘 幸		1
14		三重交通㈱代表取締役社長	田 端 英 明	欠席	
15		八風バス㈱ 代表取締役社長	久 保 田 重 人	欠席	
16		スイトトラベル㈱執行役員部長	今 福 一 晴	欠席	
17		岐阜県タクシー協会西濃支部長 (岐阜近鉄タクシー㈱代表取締役社長)	川 内 康 平	代理 岐阜近鉄タクシー㈱業務部長 高橋 政信	
18		三重県タクシー協会北勢支部長代理 (㈱三交タクシー代表取締役社長)	中 林 広 己	欠席	
19	道 路 管 理 者	岐阜国道事務所 大垣維持出張所長	太 田 宗 徳		
20		三重河川国道事務所 四日市国道維持出張所長	野 村 博	欠席	
21		岐阜県大垣土木事務所長	広 瀬 隆 男	欠席	

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考	随行
22		三重県桑名建設事務所長	矢 野 英 樹	欠席	
23	警 察 署	岐阜県警察 海津警察署長	國 枝 薫	代理 交通課長 高橋 誠	
24		岐阜県警察 養老警察署長	大 竹 康 寛	欠席	
25		岐阜県警察 大垣警察署長	吉 田 浩 司	代理 交通第一課長 中尾 学	
26		岐阜県警察 揖斐警察署長	土 洞 哲 也	代理 交通課長 林 隆彦	
27		三重県警察 桑名警察署長	山 澤 正 和	欠席	
28	地 域 公 共 交 通 の 利 用 者	大垣市連合自治会 連絡協議会会長	杉 田 邦 隆	欠席	
29		岐阜県立大垣南高等学校校長	川 瀬 英 樹		
30		三重県立桑名北高等学校校長	市 川 亮 子	欠席	
31		岐阜県大垣特別支援学校校長	田 中 久仁子		
32		かがやきクラブ大垣副会長	國 枝 芳 則		
33		NPO法人くすくす副理事長	安 田 典 子		
34		イビデン株式会社 経営企画本部総務部部長	川 崎 保 典		
35	学 識 経 験 者	岐阜協立大学教授	竹 内 治 彦		
36		名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科教授	松 本 幸 正	欠席	
37	そ の 他 会 長 が 必要と認める者	大垣観光協会会長	浅 野 圭 一	代理 副会長 杉崎 康宏	
38		大垣商工会議所会頭	田 口 義 隆	欠席	
39		西濃ブロック商工会協議会会長	高 田 英 雄	代理 事務局長 船田 勝司	
40		桑名商工会議所会頭	山 本 重 雄	代理 専務理事 久保 康司	
41		国土交通省中部運輸局 岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	下 平 真 一 郎		
42		国土交通省中部運輸局 三重運輸支局首席運輸企画専門官	小 島 光 洋	代理 係員 小坂 和都	

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考	随行
43		岐阜県都市建築部 都市公園・交通局長	舟 久 保 敏	代理 公共交通課長 城戸脇 研一	
44		三重県地域連携・交通部 副部長 兼交通政策総括監	中 村 元 保	代理 交通政策課 主事 奥田 健太	

2 オブザーバー

No.	区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考	随行
45	オブザーバー	国土交通省中部運輸局 交通政策部交通企画課長	江 川 晃 平	欠席	
46		国土交通省中部運輸局 鉄道部計画課長	小 野 木 康 仁	代理 課長補佐 平井 早苗	